

加納小郭家 かぬのこがけ 歌人。明治十九年十一月二十九日熊本縣八代郡
 宮原町生れ、昭和十四年六月二十四日歿（八六六―九三九）。本名和氣生。
 筆名小葩生、金野慈翁。明治四十一年長崎醫學專門學校卒。うち東京
 臺灣で醫業。晩年渡瀨、新京に居住し、牡丹江で歿す。在學中、小葩
 生の筆名で雑誌『文庫』に新體詩を投稿。大正二年齋藤茂吉の師事、
 翌年から歌誌『アライラギ』に入詠。徳島の郷土雑誌『わのひ』にも歌
 文を執筆。

歿後 『加納小郭家歌集』（昭和十六年二月十八日古今書院『アライラギ
 叢書』）刊。藤井喬著『流離の歌人加納小郭家』（昭和六十二年十一月
 十五日徳島・原田印刷株式会社）がある。

